

平成 29 年(2017 年)2 月 21 日

保護者のみなさま

豊能町立東ときわ台小学校
校長 末 広 亨

学校評価報告書

—アンケート集計の結果と今後の取り組みについて—

春寒の候、保護者のみなさまには益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本校教育活動にご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、本校では、学校教育活動の改善等のため、昨年 12 月に「児童の充実した学校生活」についてのアンケートを実施しました。児童は 100%、保護者は 99%の回答となりました。その後、データを集計して分析作業を行い、明らかになった課題に対して校内で協議を重ね、改善の方向性をまとめました。その間、2 月 10 日の学校協議会では各委員の方々よりご意見をいただきました。

集計結果をみると、ほとんどの項目において肯定的評価となっています。このことは、本校の教育活動に対してご理解を得られている部分が多いと考えることができ、本校として元気の出る結果となりました。しかしながら、質問 1 「学校に行くのが楽しい」において肯定意見が 100%でないことに重きを置き、課題の見極めを行うとともに“楽しいと思える学校づくり”にさらに力を入れていく所存です。また、各質問で否定意見があることも真摯に受け止め、改善を進めていきたいと考えています。

以下に特徴的な項目について、結果の分析による自己評価、改善の方向性、及び学校協議会委員よりいただいた意見を関係者評価としてまとめ、お知らせいたします。また、集計結果の比較グラフと自由記述の集約を添付していますのでご覧ください。

今後も本校は、

- ・すべての子どもたちが、いきいきと活動できること
- ・どの子にも楽しく「わかる」「できる」確かな学びを保障する授業づくり
(ユニバーサルデザインに基づいた指導・支援の工夫)

を大切に、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育活動を力強く進めていきます。そのため、保護者・地域の方々や関係機関との連携が大切になります。ご理解ご協力のほど、よろしく願いいたします。

互いに認め合い、人権を大切にする集団作り	
分析による自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の集団づくりの実践や人権教育の取り組みに一定の成果がみられる。 ・ 「学校が楽しいと思えない」児童が昨年度に引き続きいるので、その理由や背景をつかみしていねいに対応していく必要がある。 ・ 挨拶に関しては、肯定的な評価の割合が高いが、自分から進んで挨拶のできる児童は多くないと感じる。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段から児童理解につとめ、児童の状況を教職員で共有する。 ・ 児童の小さな変化を見逃さず、学校全体でアプローチしていく。 ・ 肯定的な言葉かけを意識し、一人ひとりのがんばりを学級集団に返していく。その際、結果だけでなく、そこまでのプロセスも大切にする。 ・ 自己肯定感に関しては、発達段階・単学級などの要因を意識した学級集団づくりをしていくと同時に、自己表現の仕方・相手の気持ちを考えるとといったトレーニングも取り入れて学ぶ機会を設けていく。
関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校が楽しいと思えない」という少数児童について、きめ細かく丁寧に対応してほしい。 ・ どの子にも成功体験を与えられるような取り組みを継続していき、自己肯定感や自信を持てるようにしてほしい。 ・ 挨拶は大切なことなので、家庭と連携してこれからも啓発して行ってほしい。
確かな学力のために、基礎基本の確実な定着を図る	
分析による自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「授業が楽しくよくわかる」ことに肯定的な評価の割合はおおむね良好ではあるが、ここ数年減少傾向にある。様々な活動を通して学ぶことの楽しさを追求するとともに、基礎学力の定着を図っていくことを大切にしなければならない。 ・ 少人数指導については、教員間の連携を密にし、より丁寧に取り組む必要がある。 ・ 家庭学習について、学習の習慣が学校全体についてきていると考える。低学年からの積み重ねが成果に現れている。また、保護者の理解や協力が得られていることも大きい。 ・ 家で読書に関しては、児童の意欲的な読者活動を促し、「うちどく」の取り組みなどを通して、学校と家庭が連携していく必要がある。

改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導の工夫や充実、研究を重ねるとともに、教師側の授業スキルのアップを心がける。 成果が現れている取り組みは継続していく。 宿題や家庭学習においては、引き続き習慣づける。また、家庭学習の目的や進め方などを児童に提示し、家庭へも発信していく。 図書館司書との連携をとり、教科と関連付けた読書指導を意識する。
関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> 教員自身が楽しく教えられているか、時間的精神的余裕があるか、心配している。業務の効率化、地域連携を推進し、授業の準備や子どもたちの学力チェックに使える時間を最大化してほしい。 少人数指導については、教員間の意見統一を図り、基礎学力の向上をめざしてほしい。 本のソムリエにも多くの児童が取り組んでおり、このまま続けてほしい。
日常生活を通して、健康への関心と態度を育成する	
分析による自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 保護者も教職員も、学校行事に取り組む子どもたちから前向きな姿勢を感じ、評価している。 学年を超えて遊ぶ児童がいる反面、外遊びをしていないと感じている児童もいる。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> すべての児童が学校行事を通じて充実感や達成感を味わえるよう、児童が主体となって活動できるようにする。 体を動かす機会を意図的に設ける。 担任等で外遊びの仕掛けをし、児童が自主性を持って楽しめるように考える。
関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> 全員が外遊びができるような仕掛けを考えてほしい。 (遊び方を知らない子どもが増えてきている。)
地域に学び、保護者や地域との連携につとめる (学校経営に関して)	
分析による自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観・個人懇談や親睦会だけでなく、児童朝会や地域見学等への参観や見守りの案内を行い、保護者の来校回数が増えてきている。子どもの頑張りを参観できる機会が多くなり、肯定的評価が高くなっていると考えられる。 学校の活動の様子を毎月の学校だよりとホームページなどで知らせる他、緊急な変更等はメールですばやく情報を知らせるようにしている。

	<p>また、災害下校訓練を保護者や地域と一体となって実施している。こういった取り組みから、学校の情報提供や危機管理には一定の評価をいただいているが、より充実させていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業やクラブ支援、また校内の装飾・整備等、多くの場面でボランティアの方々に協力いただいている。 学習施設設備について、保護者の肯定的評価は昨年度より上昇しているが、PTAの大型プリンターを拝借しての掲示物や個人のICT備品等の工夫を評価されているのかもしれない。しかし、現在の施設・設備は十分に満足できる状態とは言えず、保護者記述にも多くの意見がある。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 町内の保育所、幼稚園、中学校と日程調整をし、保護者が学校行事に参加しやすい状況をつくる。また、授業参観も含めた学校行事の数(バランス)について、保護者への理解を図る。 学校だよりやHP等学校情報の提供をより充実させ、授業やクラブ支援、また校内の装飾・整備等、多くの場面でボランティアの方々に協力いただいていることを校外や保護者により知らせていく。 危機管理マニュアルを精査し、徹底を図る。また、取り組み方(避難訓練等)を見直し、検証する必要がある。 施設・設備については、改善希望の多いところから改善できるよう引き続き町へ伝えていくとともに、教職員でできることやPTAの方に協力願うことを具体的に提示していく。(毎年、PTAの費用で大型備品を買い足していただいている。)
関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> 地域への働きかけや取り組みはとても評価できる。さらに密な関係を築いていくことで「地域の子ども」「地域の宝」として全体で育てていくような意識改革ができれば良いと思う。 最近の気象変化から見て、夏冬の空調設備が必要だと考える。